



竜北通信 高岩

甲斐市立竜王北中学校
学校だより
発行 校長 依田宏記
令和3年度 第4号
2021. 6. 30

その時にできる最善を尽くそう

1か月以上も前の話ですが、5月21日金曜日、中間テストのあとの6校時を使って、令和3年度前期学級役員の任命式と、これまでに届いていくつかの表彰状の伝達式を行いました。該当の子どもたちは名前を呼ばれると実に堂々と返事をし、任命証や表彰状を手渡すときにも胸を張って受けとり、とても頼もしい態度を見せてくれました。その姿からは、次のステージへ向かって力強く歩みを進めようとする決意が感じられ、とても感激しました。

そのあとで全校生徒に向けて話をする機会をいただいたので、私は表記のとおり、「その時にできる最善を尽くそう」という話をしました。昨年度から続く新型コロナウイルスの猛威の中で、子どもたちは「これまで当たり前だと思っていた活動が突然なくなる」ことをいくつも経験してきました。「努力は裏切らない」ことを信じて、懸命に努力してきたのに、その成果を発揮する場が奪われるという、「裏切る・裏切らない」以前の理不尽さに直面してきました。これは残念ながら今を生きているすべての人が経験していることです。私はこの話をするにあたって、白血病を患いながら復活し、東京オリンピック日本代表の座を獲得した水泳の池江選手に対して代表辞退を求めるとともに、オリンピックの中止を提言してほしいというSNS投稿と、それに対する池江選手のコメントの一部を紹介しました。東京オリンピックに関してはその開催に対して賛否両論あり、開催予定まで1か月を切ったにもかかわらず感染症の拡大に対する不安が拭い去れないことも事実です。そんな中で代表に内定・決定した選手たちは、誰よりも不安や葛藤を抱えていることだろうとは容易に想像できます。しかし、池江選手をはじめとして、誰もが口をそろえて言うのは、「オリンピックが開催されようとされなかつらうと、私は今できることを精一杯やるだけです」という趣旨の言葉です。翻って考えると、中学生の子どもたちも、例えば総体やコンクールなどそれぞれの目標に向かって努力を重ねていますが、その目標とする大会が突然中止になる可能性があることは、今の彼らにはわかっています。では、だからと言って手を抜くのかといえば、その答えはNOです。もちろん目の前の目標がわかりやすいですが、誰にとっても真のゴールはそこではないはずです。だから、とにかくその時にできる最善を尽くすことが大切なのだと思います。その積み重ねがいつか実を結ぶことになる、そう信じています。

そして、毎日の生活において最善を尽くす中で、避けて通れないのが「自分との戦い」です。先日は中巨摩総体の最後を飾る陸上の大会もありました。現在は、今週末の期末テストに向けて学習強化期間に入っています。一人一人が自分と向き合い、自分と戦う時です。勝ち負けを問うのではなく、後悔しない戦いをめざしてほしいと思います。

敵と戦う時間は短い。自分との戦いにこそ明暗を分ける。 (王 貞治さん)

中巨摩総合体育大会

6月15日・17日に陸上以外の各競技の部が、6月24日には陸上競技の部が、それぞれ梅雨空の合間を縫って開催されました。惜しくも敗退し、県への切符を得られなかった部や、見事に勝ち抜いて県大会出場を決めた部・個人など、結果は様々でしたが、全力を尽くして取り組む姿は大変誇らしいものでした。感染症の拡大を防ぐため、保護者の皆様には応援を遠慮していただき、ご理解とご協力に感謝申し上げます。この、大会を開催することを最優先とせざるを得ない状況は、まだしばらく続きそうですが、子どもたちへのエールはこれからもよろしくお願いいたします。

※裏面に結果をまとめました。

【北中HPで写真をたくさんご覧いただけます。】

感染症対策と免疫力アップに 「ねこのしっぽ」

ね：ねる・睡眠をしっかりとする
こ：こまめに手を洗う
の：飲み物・水分補給
し：食事・三食しっかり食べる
つ：強い体・適度な運動を
ぽ：ポジティブな明るい気持ちで

中巨摩総合体育大会 健闘の記録		
	6月15日	6月17日
野 球	3-6 (vs玉幡)	
サッカー	1-4 (vs敷島) 0-2 (vs竜王)	
男子ソフトテニス	個人：健闘	団体：1-2 (vs若草)
女子ソフトテニス	個人：3位 (雨宮・望月)	団体：3位 (Aチーム) 1位 (BCトーナメントベスト4※) ※日没のためトーナメントの各ブロック1位決定までで終了
男子バスケットボール	31-67 (vs押原)	33-59 (vs田富)
女子バスケットボール	57-38 (vs白根御勅使) 13-99 (vs田富)	40-41 (vs玉幡)
男子バドミントン	シングルス：2位 (向山) 3位 (佐保) ダブルス：1位 (望月・向山) 2位 (金丸・佐保) 3位 (岩下・佐藤) 団体：優勝 2-0 (vs芦安) 2-1 (vs竜王)	
女子バドミントン	ダブルス：1位 (八巻・久木野) 2位 (渡辺・雨宮) 3位 (小澤・興石) 3位 (齋藤・宮内)	シングルス：1位 (渡辺) 2位 (久木野) 3位 (雨宮) 3位 (八巻) 団体：優勝 2-0 (vs竜王) 2-0 (vs玉幡)
剣 道	男子 団体3位 女子 団体戦デビュー	

6月24日 中巨摩総体 陸上の部 決勝進出者の記録	
共通男子	3000m3位 (大倉 10分01秒02)
共通女子	走幅跳8位 (雨宮 4m28) 砲丸投3位 (坪川 8m74)
2年男子	走幅跳1位 (市川 5m38) 3位 (早川 5m15) 4位 松本 (5m08) 砲丸投1位 (小宮山 10m33) 総合2位
2年女子	走幅跳6位 (清水 3m98) 砲丸投5位 (熊川 7m15)
1年男子	走幅跳1位 (清水 4m92) 8位 (中村 4m21) 総合5位
1年女子	100m3位 (林 14秒70) 4×100mリレー5位 (林・遠藤・小宮山・小宮山 58秒26) 走幅跳1位 (林 4m54) 8位 (松本 3m79) 総合4位